

調布市立染地小学校 学校経営グランドデザイン(保護者会)

調布市立学校教育課程編成の基本理念「子ども一人一人を大切にせる教育の実現」

○地域や社会に開かれた特色ある教育活動○多様性を認め、生かす教育活動○社会形成に参画する、主体性を育む教育活動

学校教育目標 あたたく たくましく まえむきに生きる子ども
スローガン 「みんなでつくる みんなが大好き 染地小学校」

校長として大切にしたいこと

私は、教職員・子ども・保護者の気持ちを大切にせる学校にしたいと願い、努めてきました。なぜなら、人は感情で動くからです。特に人生の基礎となる小学校時代、子どもが自分の気持ちに気づき、感じ、誰かに伝えられるようになってほしいと願っています。感情を感じることは、自分という中身をつくることにつながります。自分の気持ちがわかれば相手の気持ちもわかるようになります。そして、「自分のことを大切にしながら、みんなのことも自分のこととして考えられる子どもを育てる」ことが学校教育目標に近づくと考えています。すべての教職員と共に、児童・保護者・地域の方々を大切にせる学校づくりを目指していきます。

めざす子どもの3つの力

「自分も人も大切にせる力」
◎「自分で考えて行動する力」
「自分からチャレンジする力」

めざす大人の3つの力

「子どもから学ぶ力」
「すべての子どもを見守る力」
「できないことは人の力を活用する力」

みんなが大好きな学校にするためには

子どもにとって

- ・居場所がある
- ・良さを認めてくれる
- ・楽しい
- ・安全(いじめがない)
- ・大人が話をきいてくれる

保護者にとって

- ・安全(いじめがない)
- ・子どもの良さを認めてくれる
- ・学力・体力が伸びる
- ・学校の様子がわかる
- ・丁寧に対応してくれる

地域にとって

- ・地域を大切にせるしてくれる
- ・学校行事に参加しやすい
- ・学校の様子がわかる
- ・丁寧に対応してくれる

教職員にとって

- ・良さを認めてもらえる
- ・職員同士仲が良く、相談しやすい
- ・風通しがよく、協力体制ができている
- ・同じ目標に向かい、主体的に学ぶことができる
- ・心に余裕をもって子どもに向き合える

先生が主体的に学ぶ

- ・子どもの実態から研究テーマを決める⇒先生たちが「やりたい」研究を進める。
- ・板書型指導案の活用・・・板書を工夫して児童の学びの整理をする。

働き方改革

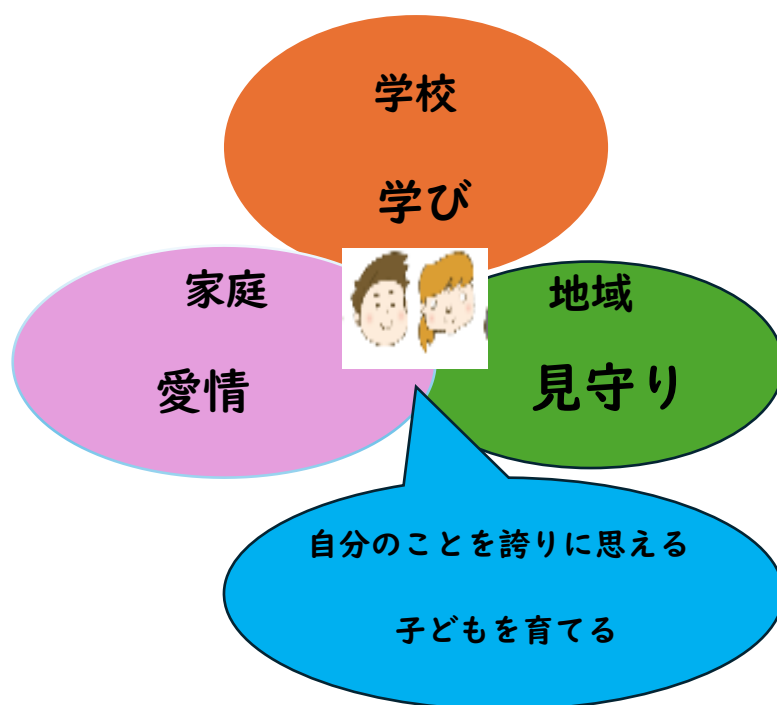
- ・計画年休の取得推進(チームで協力、調整)。
- ・チームでの業務分担の工夫

カリキュラムマネジメント

- ・行事や業務等の見直しによる精選⇒あゆみの2学期の所見なし⇒保護者面談の実施。
 - ・「チーム担任制」の実施・・・複数担当制と教科担任制…5月あたりからチャレンジする予定。
 - ・哲学タイム(低・中・高・たけのこは該当学年にまざる・ハチの子班を活用)
- 「気持ちを話そうタイム」に変更
- ・生活時程の見直し・・・休み時間の5分短縮。下校を早め、会議や教材研究の時間の確保。

PTA との連携

- ・「働きバチのはちみつタイム」・・・保護者の方たちとおしゃべりしながら、いろいろなつながりをつくるきっかけづくり



みんなで力を合わせて、一人一人にとって

大好きな学校をつくっていきましょう!!

ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いします。